

児童館 ぐんぐんのひろば



ドミノ積み挑戦

西児童館では、8月17日に「ドミノ積み挑戦」を行いました。木製のドミノを1分間でタワーのように高く積んでいきます。ドミノを1つ手に取り緊張しながら積んでいく子、どんどん高く積んでいき途中で崩れてしまふ子、何度も挑戦する子などその個性豊かな様子に新しい発見がありました。

夏休み中は、プールで遊んだり卓球をしたり、時にはけんかもしましたが、1日中子どもたち



ちの賑やかな歓声と楽しそうな笑い声が響いていました。

アイロンアクセサリー



南児童館では、8月20日にストローを利用して「アイロンアクセサリー」作りをしました。太めのストローの中に模様が出来るように、細めのストローをいくつか入れます。次に、模様ができあがったストローを同じ長さに切ります。

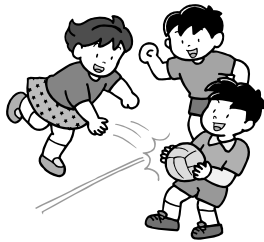
同じ長さになったストローを好きな形に組み合わせ、アイロンで熱を加え、写真のように固まると出来上がりです。

アイロンアクセサリーを作っていると、もっと素敵な形の組

み合わせを考えたり、模様を工夫したりと、長い時間集中して作る子も多く、子どもたちが成長していく姿を見ることができました。

10月の行事予定

- 西児童館 ☎(04)2321
 - ・お月見会 1日(木)
 - ・ちびっこ広場 2日(金)
 - ・雑巾がけに挑戦 5日(月)
 - ・ちびっこ広場 16日(金)
 - ・絵本の読み聞かせ 21日(木)
 - ・おやつクラブ 22日(木)
 - ・ハロウィン祭り 29日(木)
- 南児童館 ☎(04)3456
 - ・ママといっしょ 1日(木)
 - ・お月見会 1日(木)
 - ・ドッジボール大会 5日(月)
 - ・ママといっしょ 8日(木)
 - ・ママといっしょ 15日(木)
 - ・みんなでクッキング 19日(月)
 - ・ママといっしょ 22日(木)
 - ・ハロウィン祭り 26日(月)



思いやりの心で明るい社会を

人権は身近なものです

総務課
人権推進室

以降各種の特別対策を講じてきた結果、実態的差別は大きく改善され、2002(平成14)年には特別対策も終了しました。また、国や地方公共団体をはじめとした人権教育・啓発の取り組みにより、心理的差別についてもその解消が進んできました。

しかし、いまだに差別事象が跡を絶っていません。この問題の解決には、国民一人ひとりが同和問題について、一層理解を深め、自らの意識を見つめ直すとともに、自らを啓発していくことが必要です。

えせ同和行為の排除

えせ同和行為とは、いかにも同和問題の解決に努力しているように装って不当な寄附を募ったり、高額な書籍を売り付けたりといった行為をいいます。示談金などと称して不当な金銭要求をすることも同様です。

このような行為の横行は、同和問題に対する誤った認識を植え付け、同和問題の解決を拒む大きな要因となっています。

えせ同和行為に対しては、行政機関や企業などが密接に連携し、不当な要求には毅然とした態度を取ることなどが必要です。

人権とは、私たちが幸せに生きるための権利で、人種や民族性別を超えて万人に共通した一人ひとりに備わった権利です。人権は難しいものと考えられがちですが、私たちの生活に密接に関係あることです。常に關心をもって自分の問題として考えてください。

同和問題の解決には

同和問題とは、日本社会の歴史的過程で形づくられた身分的差別によって、国民の一部の人々が長い間、経済的、社会的、文化的に低い状態を強いられしてきました。

同和問題は、これらの人々が、今なお結婚を妨げられたり、就職で不公平に扱われたり、その他、日常生活の上でいろいろな差別を受けるといふ、重大な人権問題です。

政府が、1969(昭和44)年